

第2回西予市総合計画審議会 会議要旨

1 開催日時 平成27年7月9日（水） 18時30分～20時45分

2 開催場所 西予市教育保健センター4階大ホール

3 出席者 【委員】

坂本会長、樋口副会長、井上照代委員、上原委員、宇都宮とみ子委員、大塚委員、小野委員、榊原委員、今崎委員、桐木委員、源委員、清家委員、遠山委員、藤田委員、堀内委員、三好委員、井関委員、井上真季委員、宇都宮美由委員、岡崎委員、菊池委員、古本委員、本田委員、三宅委員、森委員、渡邊委員

【行政】

大平企画財務部長、藤井総合政策課長、総合政策課職員

4 議 事

- (1) 第2次西予市総合計画基本構想の策定に向けて（案）の審議
- (2) その他

- (1) 第2次西予市総合計画基本構想の策定に向けて（案）の審議
事務局が説明

意見交換

会 長：これまでの3回の部会の意見も含め、さらに市職員からの意見を徴収して、重要な部分を精査して、第2次西予市総合計画基本構想の策定に向けて（案）を策定している。課題関連図の課題を施策に反映していかなければいけないし、基本的に人口に視点を当てて、人口減少を食い止めるにはどういう施策が必要なのか。

関連図にある課題をどうクリアしていくのかということで、その基本案として、根本的な課題とそれに基づいて、今後10年に向けて、どういう施策を打っていくかの基本的な考え方として示させていただいた。

この基本構想は市長への答申の前半部分の内容となる。後半部分は今後検討していただく、基本計画となる。つまり、基本構想と基本計画を答申することになる。本日は、前半部分の根本的な考え方となる基本構想を固めていきたい。本日、示させていただいた第2次西予市総合計画基本構想の策定に向けて（案）について、ご意見をいただきたい。

委員：【１．はじめに】

「10 年経過後も旧町意識から抜け切れておらず」と書かれているが、「抜け切れていないものの」といった表現のほうがいいのではないか。

会長：表現を修正させていただく。

委員：【社会インフラ・環境衛生】

「ゴミ出しも、以前とかわらない。」と書かれているが、以前と変わらないということは、全く進歩が感じられないため、10 年前よりも進歩しているや意識が進んでいるという表現が欲しい。例えば、「ゴミを作らない生活が当たり前になっている。」というような表現のほうがいいのではないか。

会長：事務局の説明では、財政が厳しい中、ゴミ出しが十分に行われなく可能性があるため、そこからこのような文面になっていると思う。人口減少でサービスレベルが落ちていく可能性はあるけど、ゴミ出しは維持されているというような内容である。

委員：住民がゴミを出すという意味ではなくて、市が集めるという意味なのか。

会長：そういうことである。

事務局：財政状況はいい状況ではなく、このままでいくと 15 年後には貯金が底をつく。

そうことが分かっているのであれば今の段階から歳出抑制をしていくのは当然ですが、そうなるとあらゆるところに影響がいくわけで、ゴミ出しも例外ではない。夕張市の例をみると、ゴミ出しの回収を減少するうえ、有料化もされている。こういった状況にたくないという決意の表れを書いている。ゴミを作らない環境が起こるのであれば書かしていただくが、ゴミの量をコントロールするのは、難しいと思っている。

進歩がないというご意見はよく分かるが、財政状況を勘案すると進歩よりも現状維持をとにかくしなければいけないという、将来像が暗い中でも現状維持をしなければいけないという想いで書かせていただいている。

表現方法については、内部で議論させていただきたい。

会長：「ゴミ出しも、以前とかわらない。」という表現は誤解を生む可能性がある。例えば「ゴミ出しも、以前と変わらないサービスが行われている。」そういう言い回しだと、今までと変わらない行政サービスが継続して行われている趣旨の表現に変える必要がある。

文面に関しては事務局で修正させていただく。

委員：【医療・保健・福祉】

「子どもから高齢者まで、困ったときには市に相談ができ、不十分ながら、対応をするよう頑張ろうとする姿勢がある。」という福祉に関する部分があるが、少子高齢化という問題がある中で、困ったとき気には市の相談ができというのは、10 年後にならなければできないということではなく、今もできていると思うので、

改めて 10 年後に書く必要はない。不十分ながらというのは、全く夢も何もないようなことで、綱領八策が示しているようなもっと明るいようなことを書くべきではないか。

頑張ろうとする姿勢がある。といことがあるが、国や県から権限移譲されたりすることで、市の裁量で福祉についても力が入るところは国や県は支援し、力を入れないところは切り捨てられるようなことも出てきて、市の方針が大きくかわってくる。福祉を充実させなければ魅力的な市にならず、また人も集まらないということにもなるのではないかとと思われるため、もう少し、充実した内容を入れてほしい。

事務局：ご意見について、この場でどのような表現にするのかを判断するのは難しいため、会長に一任ということでどうでしょうか。

会 長：「子どもから高齢者まで、困ったときには市に相談ができ、不十分ながら、対応をするよう頑張ろうとする姿勢がある。」の内容について、事務局で検討させていただき、結果については、後でお示しさせていただきますので一任させていただきますようお願い。

委 員：了承

委 員：【まちデザイン】

人口減少をしていく中、人を集めるということになると人がいなくなったところは環境が悪くなるというイメージがある。例えば自然に戻すような表現がなければいけないのではないかと。

市内にはいろいろな組織があり、それぞれ役割を担っている。連携することはできないのか。任せる部分は任せるということではできないだろうか。行政だけが行うのでは、まちのデザインはできないのではないだろうか。

事務局：整備されないから戻していくというという考え方は非常にいい考え方だと思った。10 年後の姿で「環境に配慮し、」を入れさせていただいている。この中には自然環境も含まれており、「田舎だからこそ、環境に配慮し、一目置かれたまちデザインを地域みんなで創っている。」という書き方にさせていただいている。企業も地位も関係なく、綱領八策にあるように連携してみんなでやっていくようにしなければいけない想いがあり、「みんなで創っている。」という表現にしている。

地域の人々という意味は当然、市民も含まれるし、企業、団体も含まれるという意識で書かさせていただいている。

委 員：【まちデザイン】

「四国西予ジオパークに認定されたときには思いもよらなかったけれど、統一感のあるまちにほぼ変わりつつある。」と「四国西予ジオパークの認知度が高まったことで」、「四国西予ジオパークもなんとかイメージが定着しつつあり」とあるが、10 年後のジオパークのイメージは一体どういうものなのかをご説明いた

だきたい。

「市役所職員の働き方も変わり、対応時間が短くなって、今以上に」とあるが、これは市民に対する対応時間が短くなってということなのか。また「今以上に」というのはどこを指しているのか。

「企画立案業務も慣れつつあり、データなどを根拠に、職員自らで計画を策定することができるようになってきているようだ。」について、職員に対して、この表現の仕方について懸念される。

連携の中で、産官金学という表現をしている。金融機関に対してどのようなイメージで連携を考えているのか。

総合計画の体系で、各種計画例の中で男女共同参画の計画は入っていない。本年度、男女共同参画の行動計画の改定時期にあたったが、市の総合計画の中に含むということに決定されているようで、この中で男女共同参画の施策が謳われることとなった。しかしながら、第2次西予市総合計画基本構想の策定に向けて（案）を見ると、基本構想の中にも男女共同参画が含まれていない。あいまいな政策であるが、人を大事にするという大変、重要な施策だと思う。その点、障害者を社会的少数者と言い切るところに人に対する考え方が表れているかと少し残念に思った。人権を尊重する、そして男女が等しく能力を発揮することができる。女性に対する暴力については、基本構想のどこから関係してくるのか描けないので、考えをお聞きしたい。

事務局: ジオパークについては、全く認知度が高まっていないため、これは誤記である。

統一感のある街並みが全くできていない。旧町単位でばらばらにやってきている。これをなんとかしていかなければいけない。それぞれの地域でジオパークを使っても盛り上げようという雰囲気ができてきている。こういった盛り上がりを観光に結び付けていくことをイメージしている。

「対応時間が短くなって」というのは、窓口での対応時間を指している。分かりにくいので表現を変えさせていただく。「今以上に」というのは、総合計画を策定する時点となる。これについても表現を変えさせていただく。

「企画立案業務も慣れつつあり、データなどを根拠に、職員自らで計画を策定することができるようになってきているようだ。」の表現について、職員に対して懸念されるということだが、議会で職員が企画立案能力がないと発言しているので、特に懸念はしていない。

金融機関との関係については現在、検討中で子細については申し上げる段階にない状況だと思っている。

男女共同参画については、少数者の表現の仕方について、価値観の違いと思った。

委員: 高齢化率が40%近くになって、障害の程度に差はあれ、不自由を感じる人が多くなる。10年後にあってもまだ少数者と言い切ることが問題があるのではない

かと思う。

事務局：将来的には、少数ではなく多数になっているという考えがあるようであれば、表現方法を考えさせていただく。

基本構想の段階で男女共同に関することは、書かせていただいているが、具体的には基本計画の中でやることを考えなければいけないと思っている。

会 長：男女共同参画については、基本構想の中で文言では触れているが、綱領八策の中に入れて、男女共同参画の意識は持っており、項目としては、これから策定する基本計画に盛り込んでいく。

委 員：論文を読んでいると目的と結論が読めばその価値観が分かり、読書が趣味の人はまえがきとあとがきしか読まない。それで面白うそうだったら目次を読み、三個にしたいと思ったら興味のあるところを読んで、全てに目を通すというのはごくわずかということが文書をしての価値で、はじめにで触れているところが弱いような気がする。基本理念にあるような危機感とかチャレンジとか改革ということを目指すのであれば、社会情勢等をもっと掘り下げて、時には国際的なことも含めて、だから田舎なんだ、地方自治が大事なんだというところまでいけるようになれば価値観という話はクリアされるのではないかな。

課題関連図に対して、未来になったらこうなるというイメージ図が出てくると思うが、現段階で市の課題として9つの視点を設けて、それぞれについて解決を図る。その解決の図った先が基本構想ということに構成では見えるが、9つの視点を設けてそれぞれに解決を図ることに無理があるのではないかな。キーワードとか視点を変えて再構成したほうが分かりやすいのではないかなと思う。

例えば高齢化とか社会移動、人財育成、地域コミュニティこころ辺は、10年後の人間力という意味合いでまとめられるのではないかなと思う。

西予市綱領八策が基本構想にどう生かされているのかが分からない。龍馬のことを取り上げる意味もないような気がする。もし入れるのであれば、基本構想を謳った後でこの未来の姿を構想することを貫いたのは、この八つの価値観です。というような表現にしたほうが、効果的に伝わって価値が上がるのではないかなと思った。

転出者に対してのUターン率が24%とあったが、減った分に対してどこからかにとってこなければいけないのではないかなという発想があるが、移住者だけに限っているのが弱いのではないかな。例えば2拠点居住とか期間限定で移住しているとか。そういう姿も基本構想の中に盛り込めるとよりいい社会移動に対する政策が打てるのではないかなと思う。

会 長：この内容というのは、小説みたいなものではなくて、必要事項がこの中に入っていなければいけない。「はじめに」であまり書きすぎてしまうと小説みたいになって片手落ちになってくる。それより、むしろどうしても必要なものが盛り込ま

れていなければいけない。そう意味で書いているため、この捉え方からすると一般に読む小説とは感覚が違ってくる。擬態的な課題をどうしていくかは基本計画で議論する内容になる。

事務局：未来の姿にうまく循環している姿が欲しいという意見に対して、もっともなご意見だと思った。未来の姿では触れずに、個別具体的な基本計画の段階で関連図でこの施策を投入して、どうやったら好循環になるのかという姿は書いていきたいと思っている。

委員：課題関連図を見たときに一番上に市の人口減少があって、一番の問題がここなのかと思った。果たして人口減少が課題なのか。人口を維持しようとするから財政悪化をする考え方であったが、どの課題にスポットを当てるかで考え方が変わってくるのではないかと考えた。

会長：課題解決をするうえで、どこかにポイントを設けないといけない。人口減少が課題とは言ったが、本当の課題は人口減少を起こしている原因が本当の課題で、その課題が関連図に示されている様々なことで、それを捉えるためにあくまでも人口減少にポイントを置いている。

委員：課題関連図をみて、たった1つの問題が根底にあるのだと思った。全ての問題の根底には人口減少がある。それを明確に書けばいいと思う。

会長：「はじめに」の部分で、人口の減少ということに触れさせていただいて、その結果、関連図が出てくる。人口減少を解消しない限り、様々な課題が出てくる。そのために仕事や教育などでどう解消するためにどういうことがあるかを書いている。

委員：第1次総合計画は1度も見直しがされてこなかったが、第2次総合計画は必ず評価（見直し）がされるのか。

市長選挙との関係性ということで、法的な根拠がなければ市長がある政策を出して、総合計画と矛盾する部分があると見直しをしていくと書いてあるが、見直しには限界がある。この辺についてはどうなのか。

事務局：総合計画のプロジェクトマネジメントのところで、毎年度、予算査定で評価をしつつ、審議会と同程度の附属機関を設置すると書いている。

行政改革委員会というのが市の中にあるが、行政評価委員会は行政改革をするためだけに市の施策をすべてチェックする委員会となっている。行政評価委員会と総合計画の進捗管理を融合させて、組織体を作っていかなければいけないと思っている。計画では3年ごとにホップ・ステップ・ジャンプで考えていて、3年を目前に評価をやることを考えたので、「概ね3年に一回程度、評価と見直しを検討するものとします。」と書かせていただいている。

市長選挙との関係性については、委員の方から市長が変わったら、計画が意味をなさないのでないかとの意見があったため、書かせていただいている。

総合計画に重きを置いてマニフェストを作る人はいいが、まったく総合計画とは関係のないマニフェストを打ち出した方が出てきたときのために、市長選挙との関係性を入れさせていただいている。最終的に判断するのは審議会で検討していただき、さらに議会に諮り、それで総合計画を見直していく。

委員：【結婚・出産・子育て】

「地域では出会う機会が多く提供され、カップルが多く誕生している。その結果、子沢山の家庭が多く誕生している。」という表現に違和感がある。戦後の産めよ 育てよというイメージがあり、頑張る子どもたちが多く育っているというように表現が柔らかくしたほうがいい。

子どもを産んでいただいて、子育てをきちんとして、人口を増やす方策を取らざるを得ない。その結果という結び方はおかしいと思う。表現について、修正させていただく。子沢山の表現について、いい表現方法はないでしょうか。

委員：例えば、すくすくと育った子どもがまちに溢れている。というのはどうか。

会長：1家庭の人数を増やしたいというのが趣旨である。表現の方法について、変える必要がある。

委員：多くの子どもを望む夫婦が増えと書いてはどうか。

委員：本当は3人欲しいけど、2人に留まっているケースがある。実際には安心して産み育てられないことが問題ではないかと思う。

会長：この表現については、会長一任にさせていただいていいでしょうか。

委員：了承

委員：「まだまだ若いもんには負けんと、ばりばり仕事をこなし、地域を支えている。」について、もう少し穏やかな言葉にならないか。

普段の生活も目的を持って生活したいとは思っているが、若い人を差し置いてというように取れる表現は抵抗がある。

会長：未来の姿で四角で囲んでいる箇所は全て政策となる。そういう意味で言うとな年をとっても元気で活躍できる政策を作らなければいけない。というところからこういう表現にさせていただいているところがある。

会長：この表現については、会長一任にさせていただいていいでしょうか。

委員：了承

委員：10年後のイメージについて、男性的な言葉表現が気になる。10年後のイメージを共有することはとても大事なことで、共有しやすい表現にすることと、3年ごとに見直すのであれば、10年後という書き出しではなくて、2025年という書き出しでなければ、見直しの時点で分かりにくくなる。

会長：この表現については、会長一任にさせていただいていいでしょうか。

委員：了承

委員：「はじめに」や「総合計画とは」で当市の最上位計画としての位置づけが書か

れていながら、「総合計画とは」の実施計画で「また、国及び県の方針等を踏まえ、
不断の見直しを行う」と書いていて、市の独自の方針が出ないのかと感じている。
当然見直しを行うことは当たり前になるが、ここまで最上位の位置づけを何回も書
いておきながら、国と県の方針だけですぐに変えてしまうのか。市の独自性はもう
少し入らないのかとその点について、不満に思う。

会 長：この計画が市の計画となり、市の独自性で作っているもので、「また、国及び
県の方針等を踏まえ、不断の見直しを行う」と書いてあるが、「また」の中に副次的
に含まれている。

委 員：【医療・保健・福祉】

福祉を捉えていくと、地域福祉とか障害者福祉はあるが、もう1つ福祉といえ
ば地域福祉がある。障害者福祉の前段に「複雑多様化する生活福祉課題への対処
については、関係法令に基づく、サービスはもとより地域に根差したインフォー
マルサービスを作り育て提供できる仕組みづくりが重要である。」追加していただ
きたい。

会 長：ご提案いただきました、文書は会長預かりとさせていただいていいでしょうか。

委 員：了承

会 長：本日、いただきましたご意見に対して、内容を検討させていただいて、修正等
を行い、固まった内容を再度、ご連絡させていただく。

第2次西予市総合計画基本構想の策定に向けて（案）の内容で総合計画の策定
を進めていくということで、ご承認いただけますでしょうか。

ご承認いただける方は拍手をお願いします。

委 員：拍手多数

会 長：拍手多数で第2次西予市総合計画基本構想の策定に向けて（案）はこの内容と
させていただき、市長への答申についてもこの内容でさせていただく。今後の基
本計画を協議するうえで、整合性等が取れない場合は、基本構想を変更すること
も想定される。ご承知おきいただきたい。その際には委員の方にはご承諾いただ
く。